

総量削減計画(案)
補足資料(その1)

1 総量削減制度の概要

- 東京湾、伊勢湾及び瀬戸内海は人口、産業の集積等により汚濁が著しい閉性水域であり、排水の濃度規制のみでは環境基準の確保が困難な水域であるため、流入する生活排水、産業排水、農畜産排水等のあらゆる汚濁負荷の総量を計画的に削減することを目的
- 環境大臣が定める「総量削減基本方針」に基づき、知事が5年後の汚濁負荷の削減目標や施策の方途を示した「総量削減計画」を策定
- 知事は、環境大臣が示す範囲内で「総量規制基準」を設定
- 昭和54年度の制度開始以来、これまで第7次にわたり計画を策定し、基準を設定
- ◆対象項目：化学的酸素要求量（COD）、窒素含有量及びりん含有量
- ◆指定地域：都、埼玉県、千葉県及び神奈川県内の政令で定める地域
- ◆都内の指定地域：町田市の境川流域及び島しょ部を除く都内全域
- ◆指定地域に位置する、政令で定める規模以上の事業場（指定地域内事業場）の一日に排出が許される汚濁負荷量（総量規制基準*）を定める。

*総量規制基準 = 排水量 × 業種ごとの濃度（C値）

【総量削減計画の策定等の手順】

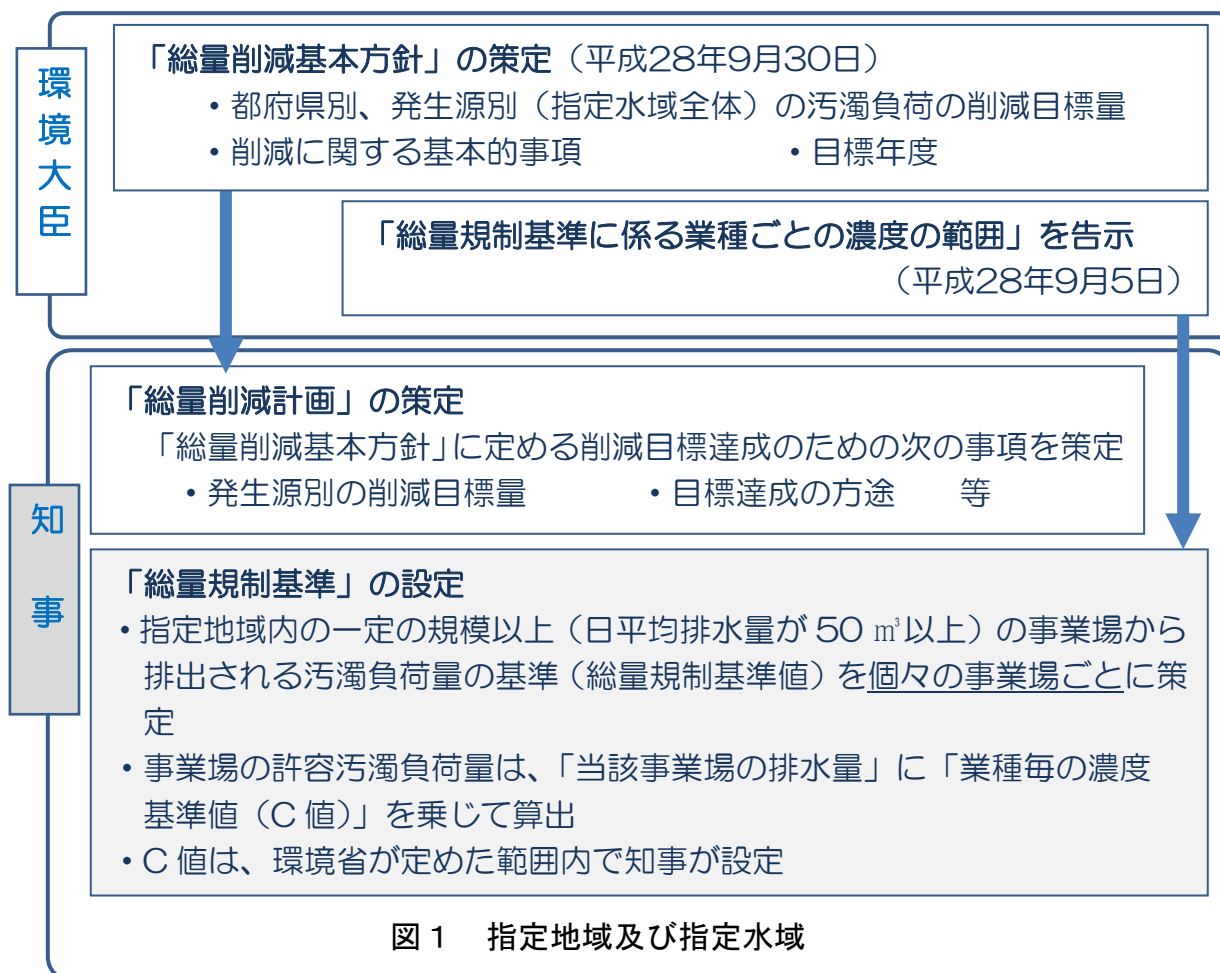
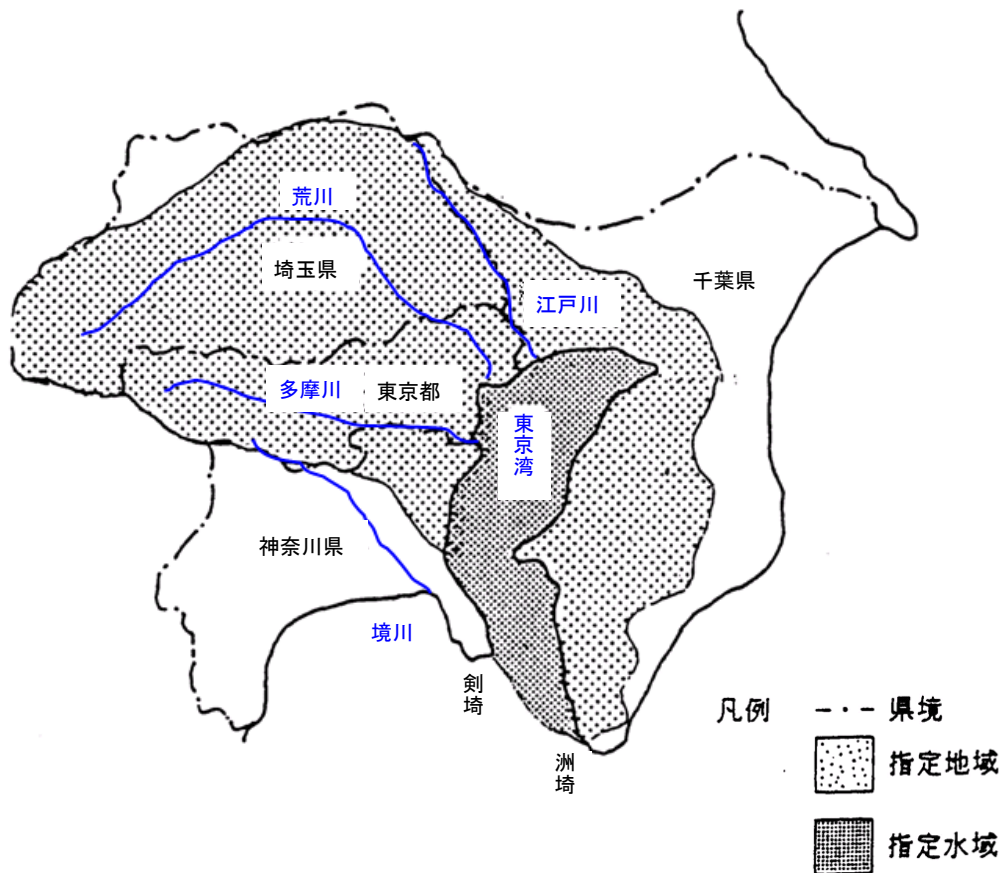


図1 指定地域及び指定水域



指定地域とは、指定水域に流入する汚濁負荷が発生する地域
 東京都の場合、島しょ及び町田市の一部^(注)(境川水域)を除く全域が該当する。

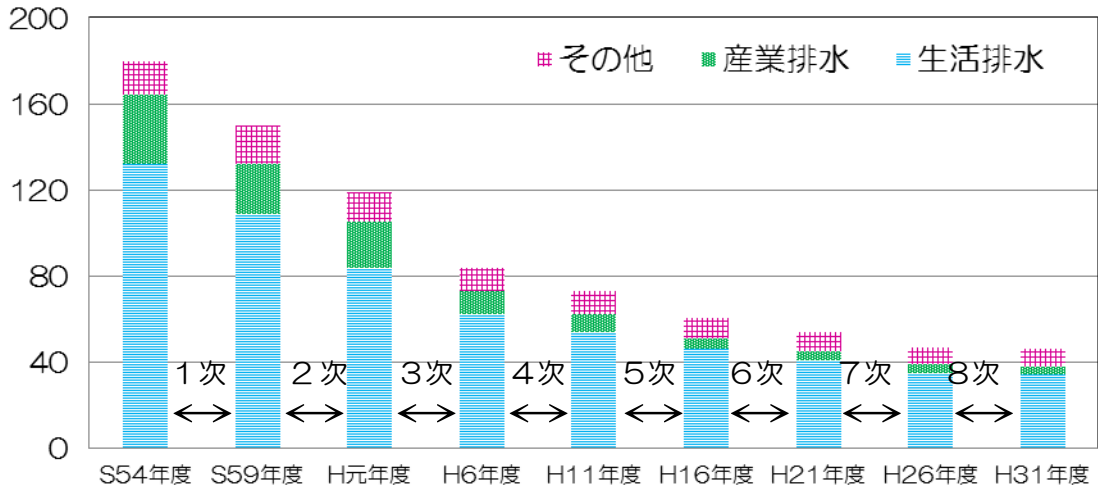
(注)【町田市の指定地域】
 原町田一丁目から原町田六丁目まで、森野一丁目から森野六丁目まで、中町一丁目、中町二丁目、金森(七号及び十三号を除く。)、金森一丁目、鶴間、鶴間一丁目から鶴間三丁目まで、小川(八号及び十号に限る。)、木曽町(二号、五号、十号及び十一号を除く。)、根岸町、矢部町、常盤町、下小山田町八幡平、忠生三丁目、忠生四丁目、相原町(殿丸及び和田内を除く。))及び小山町(二十五号及び二十七号を除く。)を除く地域。

2 これまでの都の削減実績

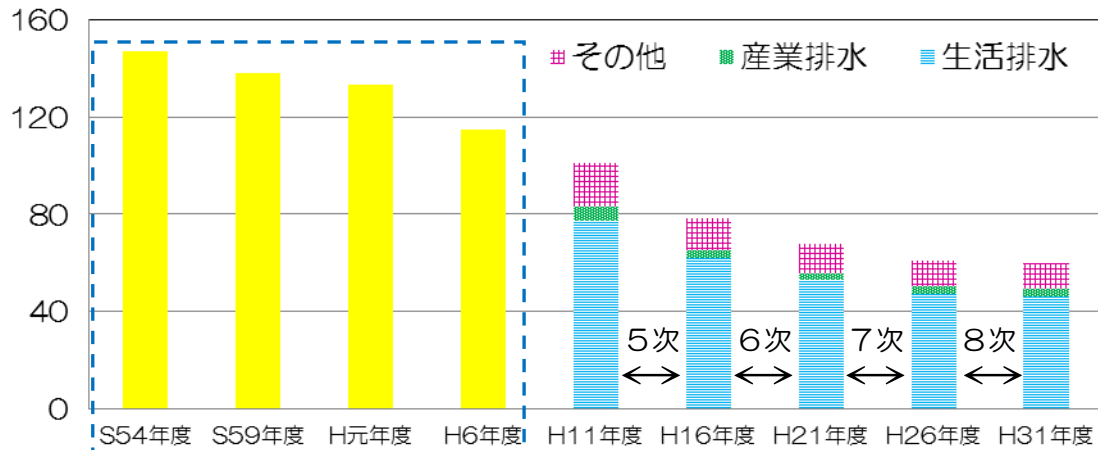
昭和54年度から7次にわたり総量削減計画を策定し、取組を進めた結果、全ての項目で汚濁負荷量は削減された。

なお、窒素含有量及びりん含有量は第5次から指定項目に追加された。

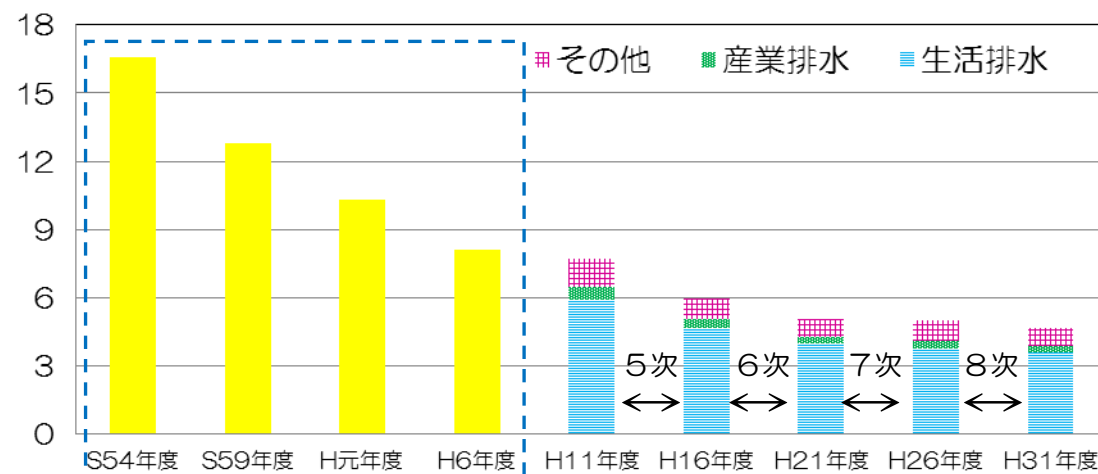
〔COD〕



〔窒素含有量〕



〔りん含有量〕

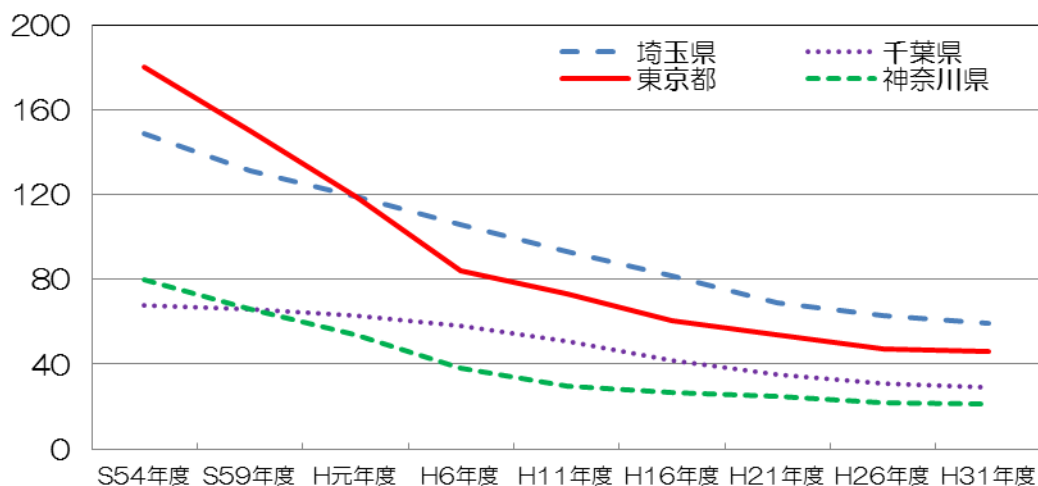


点線で囲んだ枠内：関係都県市による東京湾富栄養化対策指導指針における推計値
H31年度は計画値

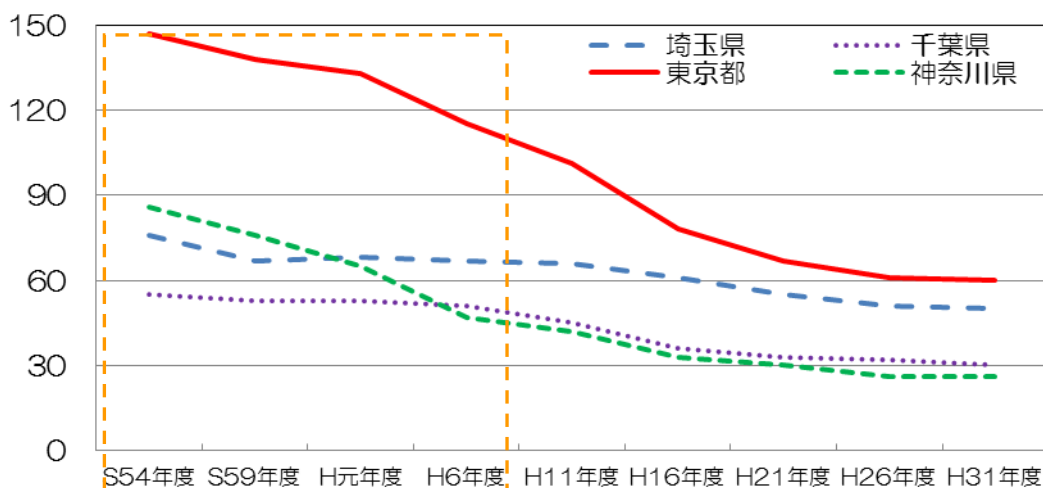
図2 汚濁負荷量の削減実績 (単位: トン/日)

(参考資料)

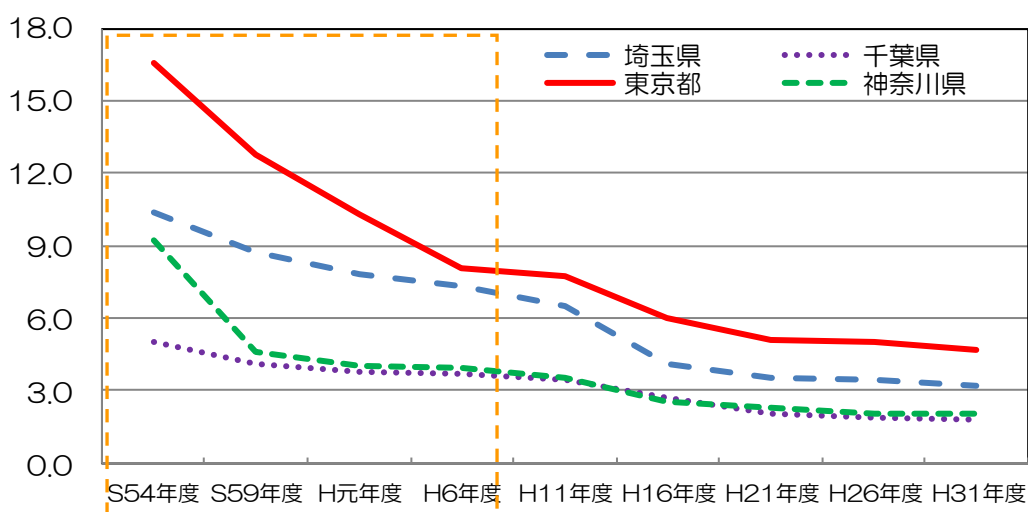
[COD]



[窒素含有量]



[りん含有量]



点線で囲んだ枠内：関係都県市による東京湾富栄養化対策指導指針における推計値
H31年度は計画値

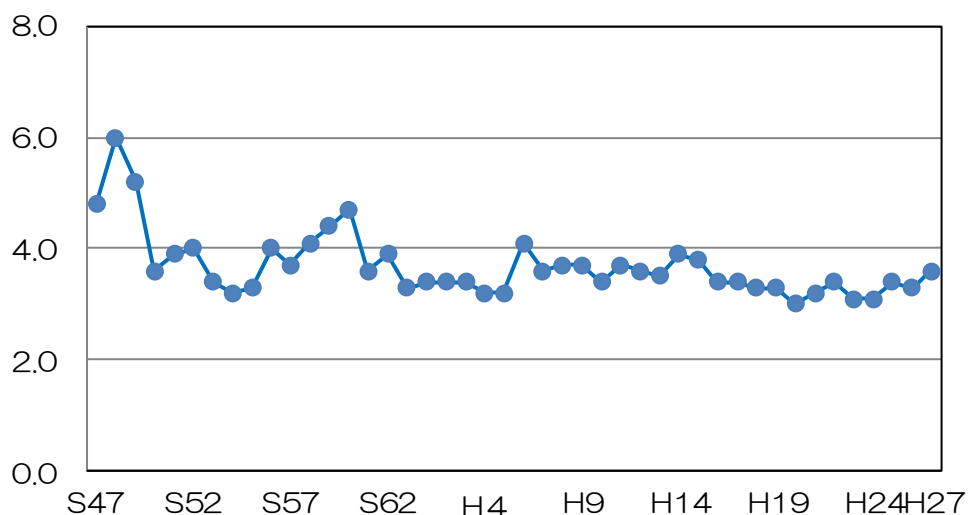
図4 汚濁負荷量の削減実績（1都3県指定地域）（単位：トン/日）

3 公共用水域の水質の経年変化

東京都内湾のCOD、全窒素、全りんの水質の経年変化を図5に示す。

CODは、昭和50年代前半以降はほぼ横ばいである一方、全窒素及び全りんは、変動を繰り返しながらも、緩やかな低下傾向が見られる。

海域のCODの経年変化（C類型環境基準点平均値）



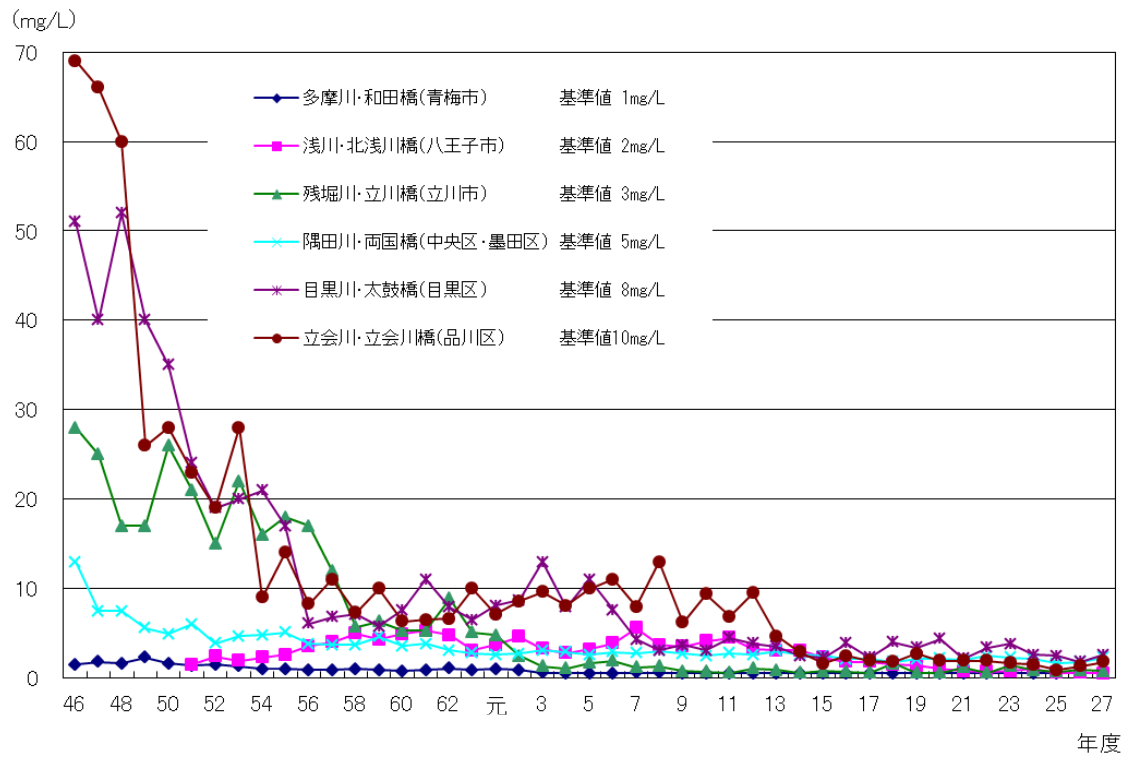


図6 河川のBODの経年変化